

Hisao Tominaga,
one of founders of this Symposium

池畑 秀一(岡山大学)

2017年10月8日

本日の内容

- (1) 富永久雄先生略歴
- (2) 恩師や同輩、後輩など
- (3) 人となりと弟子たち
- (4) 数学上の業績
- (5) 環論への貢献
- (6) 周辺の研究者達

(1) 富永久雄先生略年譜

昭和2年(1927) 10月31日、小樽市入船町9丁目26番地に父鉄一郎、母キナの長男として出生

昭和9年(1934) 4月、小樽市立天神尋常小学校入学

昭和15年(1940) 4月、北海道庁立小樽中学校入学

昭和19年(1944) 4月、中学4年修了で、北海道帝国大学予科工類入学。大槻富之助先生が、個人担任

昭和20年(1945)終戦後、工科が嫌になり、数学へ転向

昭和22年(1947)4月、北海道大学理学部数学科入学。

3年生のゼミで守屋美賀雄教授に師事。N.Jacobsonの Theory of Rings を読む。この間大学へ通いながら北海道立小樽高等学校夜間部講師を勤める。

富永久雄先生略年譜

昭和25年(1950) 3月、北海道大学理学部数学科卒業
4月、北海道大学大学院特別研究生入学

昭和27年(1952) 10月、弘前大学文理学部講師

昭和28年(1953) 4月、岡山大学理学部助手

昭和34年(1959) 4月、北海道大学理学部講師
10月11日、佐藤富美子と結婚

昭和35年(1960) 6月、理学博士(北海道大学)の学位
取得。同月、北海道大学理学部助教授

昭和41年(1966) 10月、岡山大学理学部教授

平成3年(1991) 4月、岡山大学大学院自然科学研究科長

平成5年(1993) 3月31日、岡山大学定年退官、
4月、岡山商科大学教授

平成6年(1994) 2月23日、死去

なお、この間

国立精華大学客座教授(中華民国)

昭和43年(1968)11月～昭和44年(1969)2月

University of California, Santa Barbara,

Visiting Professor (昭和53年(1978)6月～8月)

岡山大学評議員

昭和54年(1979)4月～昭和60年(1985)3月

(2) 恩師や先輩、友人、後輩達

恩師 守屋 美賀雄 (Moriya, Mikao)

先輩 東屋 五郎 (Azumaya, Goro)

後輩 倉田 吉喜 (Kurata, Yoshiki)

尾野寺 毅 (Onodera, Takeshi)

岸本 量夫 (Kishimoto, Kazuo)

北海道大学助教授の時指導

大堀 正幸 (Ohori, Masayuki)

宮下 庸一 (Miyashita, Yoichi)

本瀬 香 (Motose, Kaoru)

岡山大学の同僚

永原 賢 (Nagahara, Takasi)

(2) 恩師や先輩、友人、後輩達

恩師 守屋美賀雄(1906年3月～1982年10月18日)
Moriya, Mikao

開成中学、第一高等学校卒業後、
昭和4年(1929) 東京帝国大学理学部数学科卒業
師は高木貞治。ドイツ留学。Helmut Hasse に学ぶ
昭和16年(1941) 北海道大学理学部数学科教授
昭和25年(1950)5月、岡山大学理学部数学科教授
昭和32年(1957)8月、東京大学教養学部教授
昭和40年(1965)3月、東京大学定年退官
昭和40年(1965)4月、上智大学理工学部数学科教授
昭和43年(1968)11月12日、上智大学第6代学長
～昭和50年(1975)3月31日

東屋 五郎 (Azumaya, Goro) (1920年2月26日～2010年7月)

昭和28年(1953) 北海道大学数学科教授

昭和43年(1969) Indiana大学へ転出

富永先生は昭和34年4月から

昭和41年9月まで北大助教授
として東屋五郎先生の学生を
指導

(3) 人となりと弟子たち

酒が大好き。タバコも

厳しい指導の中やさしさ

岡山大学教授になったころ

「罵倒」観音とよばれていた

学生にはさまざまなことをやらせる

環論の若手研究者を激励

昭和48年(1973)ごろのゼミ

岡山大学理学部代数学講座

教授 富永久雄(45)

助教授 永原賢(42)

助手 中島惇(30)

副手 最上勲、高松繁

修士2年 千葉克夫、大石兼三

修士1年 関山秀明、池畑秀一

4年生 数人

近隣 中本太一(岡山理科大)、本元基司(津山高専)

毎週木曜日 朝9時から夕方までゼミ

岡山大学での弟子

北村 好(東京学芸大学)

本元 基司(津山高専)

中本 太一(岡山理科大学、倉敷芸術工科大学)

二宮 晏(信州大学、放送大学)

最上 勲(津山高専)

千葉 克夫(新居浜高専)

池畑 秀一(岡山大学)

奥村 博(前橋工科大学、大和大学)

加戸 次郎(大阪市立大学)

隅山 孝夫(愛知工業大学)

岡山大学での弟子

平野 康之(岡山大学、鳴門教育大学)

小松 弘明(岡山大学、岡山県立大学)

古川 徹(山陽学園大学)

柳井 忠(新居浜高専)

岡本 浩明(くらしき作陽大学)

西中 恒和(岡山商科大学、兵庫県立大学)

環論セミナー

第1回環論グループセミナー(1968年)

日程:1968年月日()-日()

場所:乗鞍高原温泉

長野県安曇野村

発起人:富永久雄(岡山大学)、
太刀川弘幸(東京教育大学)、
原田学(大阪市立大学)、
遠藤静夫(東京都立大学)

初参加のセミナー

第6回環論グループセミナー(1973年)

日程:1973年8月19日(日)--20日(月)

場所:岡山大学

岡山県岡山市津島中

責任者:富永久雄(岡山大学)

講演者: 岩永恭雄、丸林英俊、大城紀代市等

第10回(1977年)から第26回(1993年)まで

報告集は岡山大学で印刷

第29回(1996年)環論および表現論シンポジウム(改名)

富永先生の功績

環論シンポジウムの報告集の世話

第26回(1992年)まで 報告集は岡山大学

Mathematical Journal of Okayama University

の編集委員として、多数の環論関係の論文を編集

自身の論文159編のうち 94編

がMJOUに掲載。

岡山大学

1964年(昭和39年) 大学院理学研究科(修士課程)を設置

1987年(昭和62年) 大学院自然科学研究科(博士後期課程)を設置

博士課程がない時代 他大学の博士課程へ
北海道大学、東京教育大学(筑波大学)、
広島大学、大阪市立大学

(4) 数学上の業績

査読付き論文 **159**編

(MathScinet **165**編 1冊のlecture Noteと
Symposiumの報告集等含む)

Mathematical Journal of Okayama University

1952年Vol.1 竹之内脩、大島勝、大槻富之助
守屋美賀雄、稲垣武、富田稔

これから**MJOU**は1年に2冊ずつ発刊

1984年の第26巻から1年に1冊

富永先生は1953年の3巻から1991年の33巻
までに **94**編の論文

数学上の業績

Journal of the Faculty of Science, Hokkaido University.
Ser. 1, Mathematics = 北海道大学理学部紀要

1961年の15巻から1966年の19巻までに

11編

Hokkaido Mathematical Journal

1972年の1巻から1989年の18巻までに

4編

数学上の業績

Proceedings of the Japan Academy (日本學士院紀要)
1953年29巻から1975年51巻まで
14編

Mathematica Japonica
10編

Resultate der Mathematik (Editorをしていた)
(現Results in Mathematics)
7編

ここまでの合計で **140編**

数学上の業績

残りの20編はさまざまな雑誌に
たとえば

Abh. Math. Sem. Univ. Hamburg	1編	1974
Hiroshima Mathematical Journal	2編	
Nagoya Mathematical Journal	1編	1966
その他		

数学雑誌に対する考え方

Mathematical Journal of Okayama University
を一番重要視

94/159

1966年に教授になってからは編集者
投稿論文をいつも手直し

一日中 IBMタイプライターの音

単著数 41編

共著数 118編(永原賢との共著は 21編)

研究内容

非可換環の構造論

On right-regular rings,

On primary decompositions in non-commutative rings,

Some remarks on radical ideals,

Some remarks on π -regular rings of bounded index,

A note on matrix rings,

On the π -regularity of certain rings,

On a theorem of N. Jacobson,

この後

A note on Galois theory of division rings of infinite degree (With Nagahara) **1955** Galois Theory の最初

永原賢と共同研究

単純環のガロア理論の構築

Galois 理論の論文は49編

(永原賢との共著21編を含む)

1955年から1967年頃までが主で後は散発的に1974年頃には終了

無限次のGalois理論

後は一般的な環論の話題

On s-unital rings, 1976 MJOU

Commutativity Theorems 関連の論文多数 50数本

著作

Lecture Note 1冊

Galois Theory of Simple Rings

By Hisao Tominaga and Takasi Nagahara

1970年

Okayama Mathematical Lectures

現在、MJOUのHPでダウンロードできます。

共著

1970年頃から、共著が多くなる

平野康之 (Hirano, Yasuyuki) 25編

小松弘明 (Komatsu, Hiroaki) 22編

永原賢 (Nagahara, Takasi) 21編

Adir Yaqub 22編

本元基司 (Hongan, Motoshi) 8編

岸本量夫 (Kishimoto, Kazuo) 5編

西中恒和 (Nishinaka, Tsunekazu) 4編

大堀正幸 (Ohori, Masayuki) 4編

千葉克夫 (Chiba, Katsuo) 4編

Arif Kaya 3編

共著

延沢信雄 (Nobusawa, Nobuo) 3編

村勢一郎 (Murase, Ichiro) 2編

尾野寺毅 (Onodera, Tsuyoshi) 4編

本瀬香 (Motose, Kaoru) 3編

永原 賢 (Nagahara, Takasi)

昭和5年(1930)11月5日～ 現在86歳

富永先生との共著多数

ともに単純環のガロア理論を研究

ガロア拡大の生成元の問題

可換環のガロア理論

歪多項式環の分離多項式論

弟子 菊政勲(山口大学)

岸本 量夫 (Kishimoto, Kazuo)

昭和7年(1932)生

信州大学名誉教授

Skew Polynomial Ring 関係をはじめ

MJOUに多数の論文を発表

永原 賢

宮下 庸一 (Miyashita, Yoichi)

筑波大学名誉教授

2016年1月10日に78歳で死去

北海道大学で助教授時代に指導。

Tilting modules of finite projective dimension, *Math. Z.* 193 (1986), no. 1, 113–146.

Finite outer Galois theory of non-commutative rings, *J. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. I*, 19 (1966), 114-134.

Locally finite outer Galois theory, *J. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. 1*, 20 (1967), 1-26.

宮下 庸一

Galois extensions and crossed products, J. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. 1, 20 (1968), 122-134.

On Galois extensions and crossed products, J. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. 1, 21 (1970), 1-26.

On a skew polynomial ring, J. Math. Soc. Japan 31 (1979), no. 2, 317-330.

2人の研究者

平田和彦

(平成24年10月13日死去 85歳)

千葉大学名誉教授

H-分離拡大研究の創始者

菅野孝三

北海道大学教授

H-分離拡大に関する多数の論文

(平成16年(2004)8月31日死去 63歳)